

2005年3月29日

各位

朝日生命保険相互会社
富士通株式会社

朝日生命が指紋認証装置搭載の次期携帯パソコンの導入を決定

**～富士通がデザイン、使い易さ、信頼性を考慮、指紋認証等セキュリティ重視で設計、提供～
～指紋認証装置の大規模採用は生保業界初！～**

朝日生命保険相互会社（代表取締役社長 藤田 譲、以下、朝日生命）は、全国の営業職員等がお客様へのプレゼンテーションや保険設計に使用している約1万7千台の携帯パソコン（愛称：ハンディアイ）を2005年10月より順次リプレイスすることを決定しました。

次期携帯パソコンは、富士通株式会社（代表取締役社長 黒川 博昭、以下、富士通）がデザイン、使い易さ、信頼性を考慮し、朝日生命向けに開発、製造したもので、指紋認証を取り入れる等、セキュリティを重視した設計となっています。

なお、生保業界において、全国の営業職員等が使用する約1万7千台もの携帯パソコンに、指紋認証装置を大規模採用するのは初めてです。

1. 携帯パソコンのリプレイス（2005年10月より順次実施）

(1) リプレイスの目的

朝日生命は、2005年10月に現在使用している携帯パソコンのリプレイス時期を迎えるため、デザイン、使い易さ、信頼性、セキュリティ強化を踏まえたパソコン選定を行ってききましたが、今般、富士通製の次期携帯パソコンの導入を決定しました。2005年10月より、次期携帯パソコンへと順次リプレイスしていきます。

これにより、営業職員の業務効率化を向上していくとともに、指紋認証装置の標準装備を通じ、強固なセキュリティを実現していきます。

(2) 次期携帯パソコンの概要

朝日生命の次期携帯パソコンは、富士通がデザイン、使い易さ、信頼性を考慮し、開発、設計したものです。特にセキュリティを重視し、指紋認証装置が標準装備されています。

①セキュリティ：携帯パソコン一体型の指紋認証装置の標準装備など

- ・ 端末起動時に指紋認証を行うことで、本人以外の起動を防止
- ・ ハードディスク内のファイルの暗号化と、セキュリティチップ（注）による暗号鍵の安全な保管により、情報漏洩を防止
- ・ データ持ち出しによる情報漏洩を抑止するソフトウェアにより、フロッピーディスク、USBメモリ、CD-Rなどのデバイスによるデータの持ち出しを抑止

（注）セキュリティチップ：OSやソフトウェア、周辺機器が備えるセキュリティ機能を強化し、パソコン本体のセキュリティレベルを飛躍的に向上させる専用のチップ。業界団体であるTCG(Trusted Computing Group)で定義された仕様(v1.1b)に準拠。

②使いやすさ：携帯性に優れ、快適かつ使い勝手が良い

- ・快適に扱える大画面タッチパネルの採用
- ・180 度開く液晶パネルにより、営業職員がお客様へ行うプレゼンテーションでの使い易さを追求
- ・見やすくわかりやすい書体を採用したキーボード、使用しやすいキー配列

③信頼性：丈夫で、安心できる

- ・日常業務の衝撃に耐えられるように、厳しい品質評価基準をクリア

④デザイン：やさしく、スマート

- ・女性を意識したスマートなラウンドフォルム
- ・高品質で知性的なシルバーとブラックのツートンカラー

2. 営業支援系システムの再構築（2006 年度中を予定）

朝日生命では、次期携帯パソコンのリプレイスと併行して、営業支援系システムの再構築も決定しました。これにより、朝日生命は、お客様に対して従来以上に迅速かつ適切なサービスをご提供していきます。

- (1) 全国約 800 拠点に設置のサーバ内データをコンピュータセンターに集約、営業職員が使用している業務アプリケーションの Web 化を行う。
- (2) 社内ネットワークの再構築を通じ、高速ネットワークを実現し、Web 型アプリケーションに対応したシステムインフラを整備。

なお、当システムは、富士通のネットワークサービス「FENICS(フェニックス)ビジネス IP ネットワークサービス」を採用しており、全国の拠点は、ブロードバンドネットワークサービスにより接続されます。加えて、センターサーバとして、富士通のブレード型 IA サーバ「PRIMERGY(プライマジー)」、ミドルウェアとして Web アプリケーションサーバ「Interstage Application Server」を使用し、OS には Linux を採用するなど、最先端の IT テクノロジーにより構成されています。

（製品やソリューションについては別紙をご参照下さい。）

以上

次期携帯パソコンおよび営業支援系システムの再構築に使用した主な製品やソリューションについて

1. 次期携帯パソコンについて

・セキュリティ対策ソフトウェア「FENCE（フェンス）シリーズ」

「FENCE-G（フェンス・ガード）」は、データ持ち出しによる情報漏洩を抑止するソフトウェアです。フロッピーディスクやUSB メモリ、CD-R など外部記録媒体、または、メールなどによるファイルの持ち出しを抑止します。

「FENCE-AP（フェンス・エーピー）」は、情報漏洩対策やシステムへの侵入防止を可能とする、認証ソフトウェアです。

2. 営業支援系システムについて

・ネットワークサービス「FENICS ビジネス IP ネットワークサービス」

FENICS ビジネス IP ネットワークサービスは、セキュアで使い勝手のよい IP-VPN を提供するサービスです。高速・高品質で安定したネットワーク環境を実現し、イントラネットやエクストラネットを構築できます。

・IA サーバ「PRIMERGY」

富士通の IA サーバ「PRIMERGY」は、Windows Server と Linux をサポートするインテル社製 CPU を搭載したサーバです。小規模システムから大規模システムまで、適材適所で活躍する拡張性と信頼性を備えた製品です。

・Web アプリケーションサーバ「Interstage Application Server」

Interstage Application Server は、変化するビジネス環境を支える高信頼・高性能のアプリケーションサーバです。

【関連ホームページ】

FENCE シリーズホームページ : <http://segroup.fujitsu.com/secure/products/fence/>

FENICS ホームページ : <http://fenics.fujitsu.com/services/ns/>

PRIMERGY ホームページ : <http://www.fmworld.net/biz/primergy/>

Interstage ホームページ : <http://interstage.fujitsu.com/jp/>

【商標について】

FENCE、FENCE-G は、株式会社富士通ビー・エス・シーの登録商標です。

その他、記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。